

令和3年度県立宜野湾高等学校「体育」シラバス（1～3学年）

1 目標

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動できる資質や能力を育てる。

2 到達目標

- 1 スポーツの楽しさを知り、継続的に運動に親しむ力を育てる。
- 2 選択制授業を通して、仲間との関わり合い公正・協力・責任の態度を育てる
- 3 自己やグループの能力に応じた課題の解決をめざした課題解決型の学習をめざす。

3 「体育」の単位数とクラス編成について

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 計 |
|------|----|----|----|---|
| 体育単位 | 3 | 2 | 3 | 8 |

選択制（コース別選択制）クラス編成を行う。 ・各学年ごとに下記のいずれかで行う。

3クラス合併4展開授業（男女別）

3年3学期のみ男女共習を行う

4 年間指導計画表(1～3年生とも次の計画で行います) ※行事等の関係で内容が変更になることがあります。

| 学期 月 | 1学期 | | | | 2学期 | | | | 3学期 | | |
|---------|----------------|---|---|---|--|--|----|-----------|---------------------|--|---|
| | 4 | 5 | 6 | 7 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 体育 | オリエンテーション ⑩ | 1 水泳 2 球技 ・バスケット・バレー ・サッカー・ソフトボール ・バドミントン・ハンドボール <コース別に選択> | | | 1 球技 2 水泳 1・2の どちらか <必修> | 1 球技 ・1学期同様 2 陸上 ・走、跳、投 3. 柔道 <コース別に選択> | | 体育理論 ④ | 体づくり運動 ④ 長距離走 | 1 球技 ・1学期同様 2 柔道 <コース別に選択> <3年は男女共習> | |

5 評価について

体育の評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能」「知識・理解」の4観点の内容をもとに、日頃の授業の中で下表にまとめた方法で評価を行います。特に授業態度は重視し評価する。

| | 評価の観点および内容 | 評価方法 |
|-------------------|---|-------------------------------------|
| 関心・意欲・態度 (20%) | ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動しようとしているか。 ・公正、協力、責任などの社会的態度が身に付いているか。 ・健康や安全に留意して運動しようとしているか。 | 授業勤怠や態度 行動観察 個人カード グループノート |
| 思考・判断 (15%) | ・自己の能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出しているか ・課題解決めざして、活動の仕方を考え工夫しているか | 行動観察 個人カードグループノート |
| 運動の技能 (45%) | ・自己の能力と運動の特性に応じた課題解決をめざして運動を行い技能を高めているか。 ・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の行い方を身につけているか。 | 行動観察 記録会 発表等 |
| 知識・理解 (10%) | ・運動技術のしくみと運動の学び方について理解できているか。 | ルールテスト等 個人カードやノート等 |

6 学習計画

| 期 | 月 | 時間 | 領域・種目 | 学習目標・学習内容 | 留意点 | | |
|-------------|---|----|--|---|--|--|---|
| 一 学 期 | 4 | ⑩ | オリエンテーション 「体育」学習について | 「体育」学習の意義や内容、評価の方法について理解する。 選択制授業の意義、学び方（課題解決学習）等について知る。 自分の体の状態を知り身体をほぐしたり、体力を高める運動を行なう。また、生活の中で計画的に実践できるようにする。 <u>体ほぐし運動</u> リズム体操、ペアーでストレッチなど <u>体力を高める運動</u> 持久走、柔軟運動、力強さを高める運動など | 選択制授業の意義やその学び方について知ろう。 | | |
| | | | 体づくり運動 体ほぐし運動 体力を高める運動 | | 自己の体力やストレス解消の仕方について知る。 | | |
| | 5 | ⑫ | 水泳 クロール 平泳ぎ 背泳ぎ バタフライ | 自分の目標に応じた泳ぎ方をマスターし、速く泳いだり続けて長く泳いだりすることができるようにする。 ・水泳の基礎・基本となる技能の習得をする ・挑戦したい泳ぎを速く泳いだり、続けて長く泳げるようにする。 ・救急法や心肺蘇生法について実習を行なう。 | 安全な水泳学習と教え合い学習をめざす。 自分の選んだ種目の限界に挑戦する。 | | |
| | | | 球技 バレーボール バスケットボール ハンドボール ソフトボール サッカー バドミントン | | | <球技> チームの課題や自分の課題に応じて技能を高め、作戦を生かした攻め方守り方の展開をしたゲームができるようになる。 ・互いのよさを生かしてチームを作り簡単なルールでゲームを行なう。 ・仲間とともに練習を工夫しながらチームや個人の特徴を生かした作戦やルールの工夫を通して、対抗戦を行なう。 ・チームや個人の力を生かし相手チームに対する作戦を工夫しながらリーグ戦を行なう。 | 仲間と共に教え合い学習、協力学習を心がける。 |
| | | | | | | 陸上競技 中距離走・短距離走 砲丸投げ・走り幅跳び | <陸上競技> 自分の力に応じて選んだ運動の技能を高め、競技したり記録の向上をめざす。 ・実態把握（それぞれの種目を測定する） ・走・跳・投の運動から2種目を選択し、仲間と競争したり、自分の記録に挑戦していく。 |
| | 二 | 10 | ⑩ | 武道・ダンス 柔道 空手 | <柔道> 自分の力に応じた運動の技能を高め、相手の動きに対応した攻め方や守り方を展開して試合ができるようになる。 ・基本動作や投げ技とその安全な受け身の方法を身につけると共に、対人技能の練習を行なう。 ・自分にあった得意技を身につけ試合を行なう。 ・自分にあった得意技を使って対抗戦を楽しみ大会を企画・運営できるようにする。 | 伝統的な礼法について知る。 安全面には最大の気配りをする。 得意技をみつける。 | |

| | | | | | |
|-------------|----|---|--|--|---|
| 学 期 | 11 | ⑫ | ダンス フォークダンス 現代的なリズムのダンス | <ダンス選択者> 自分の選択した踊り感じを込めて踊ったりみんな 楽しく踊ったりして交流し発表することが できるようにする。 <u>現代的なリズムのダンス</u> ・グループで好きな曲(リズム)を選び作品を つくる・発表会を企画・運営する。 <u>フォークダンス</u> ・やさしいフォークダンスを踊り基礎・基本に ついて学ぶ ・新しいフォークダンスに挑戦する | 好きなリズムに のって踊る楽し さを体験する。 各国の踊りの特 徴について知る。 |
| | 12 | | | | |
| 三 学 期 | 1 | ⑫ | 体づくり運動 長距離走 | <長距離走> 自分の力に応じて、長い距離を走る中で、体力 の基本となる基礎体力を培う。 ・男子 3.8km 女子 3.2km の校外走を行う。 ・合計8回行い、体力向上に努める。 | 各種目の記録の 限界に挑戦する。 その種目の特徴 について理解し 合理的な練習法 を習得する。 |
| | 2 | ⑫ | 球技 バレーボール バスケットボール テニス・卓球 ソフトボール サッカー | チームの課題や自分の課題に応じて技能を高 め、作戦を生かした攻め方守り方の展開をした ゲームができるようになる。 ・互いのよさを生かしてチームを作り簡単なルー ルでゲームを行なう。 ・仲間とともに練習を工夫しながらチームや個 人の特徴を生かした作戦やルールを工夫を通し て、対抗戦を行なう。 ・チームや個人の高まった力を生かし相手チ ムに対する作戦を工夫しリーグ戦を行なう。 | ゲームを通して 各種目の楽しさ を深く味わお う。 自分にあった種 目の特性を見つ ける。 各種目の審判法 ができるように する |
| | 3 | | | | |

7 使用教科書

体育実技

副教材：大修館書店「VISUAL SPORTS」

8 学習の留意点

- ・実技だけでなく、観点別に評価しますので、日頃の学習態度等しっかり頑張りましょう。
- ・服装は指定の体育着を着用して下さい。(冬季は指定上着長袖のジャージを着用可)
- ・種目は自主的に選択し積極的に体を動かすようにしましょう。
- ・体調不良等で見学する際は、保健室の先生の確認をとるようにしましょう。
- ・無理は禁物ですが長期に病気等で、休むまたは見学する場合は「診断書」の確認が必要です。
- ・時間を守り、機敏に行動しましょう。

・新型コロナ感染予防対策(3密及び手洗い・手指消毒・喚起等)の徹底を行う。

令和3年度県立宜野湾高等学校「スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲ」シラバス（1～3学年）

1 目標

運動についての理解と合理的な実践を通して、高度な運動技能の習得できるようにし、心身ともに健全な人間の育成に資するとともに、体育・スポーツの振興発展に寄与する資質や能力を育てることを目指す。

2 到達目標

スポーツ・健康に関する基礎的知識と技能を修得し、将来における体育・スポーツの指導者としての資質や能力を育てる。

3 内容

- ◆ 「トレーニング論」「スポーツ情報論」「健康概論」「救急処置実習」等の、基礎的知識と技能を修得する。
- ◆ キャンプ、ボウリング、ゴルフ等を実習体験し生涯体育の基礎を修得とする。
- ◆ 専門的スポーツの技能を伸長するとともに、各種のスポーツについての知識と技能を修得する。

4 単位数

| 学年 | 科目 | 単位数 |
|----|-------|-----|
| 1年 | スポーツⅠ | 2 |
| 2年 | スポーツⅡ | 4 |
| 3年 | スポーツⅢ | 4 |

5 年間指導計画表(スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲ) ()内は時間数です

| 学 月 | 1学期 | | | | 2学期 | | | | 3学期 | | |
|-----------------------|---|---|---|---|--|----|----|----|---|---|---|
| | 4 | 5 | 6 | 7 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| ス ポ Ⅰ Ⅱ Ⅲ | ・オリエンテーションと体づくり⑫ <集団行動> ・体力テスト④・ボウリング実習⑥ ・栄養学講義④ ・トレーニング論講義と実習⑩ ・集団行動⑧ ・救急法実習⑥ (1年) | | | | ・ゴルフ実習 レンジ⑫ コース⑧ ・キャンプ実習 (スポーツⅡ) ⑫ ・集団行動、シンクロ⑫ ・トレーニング実習⑫ ・専門種目実習④ ・救急法実習⑫ (3年) | | | | ・武道実習⑫ (2・3年) ・送別駅伝⑧ (3年生) ・専門種目実習⑫ | | |

6 評価について

評価は以下の4観点の内容をもとに、日頃の授業の中で下表にまとめた方法で評価を行います。

| 評価の観点および内容 | | 評価方法 |
|-------------------|--|--------------------------|
| 関心・意欲・態度 (45%) | ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動しようとしているか。 ・公正、協力、責任などの社会的態度が身に付いているか。 | 授業勤怠や態度 行動観察 提出課題等 |
| 思考・判断 (10%) | ・能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出しているか ・課題解決めざして、活動の仕方を考え工夫しているか | 行動観察 提出課題等 |
| 運動の技能 (35%) | ・自己の能力と運動の特性に応じた課題解決をめざして運動を行い技能を高めているか。 ・体力を高めるための運動の行い方を身につけているか。 | 行動観察 記録会 発表等 |
| 知識・理解 (10%) | ・運動技術のしくみと運動の学び方について理解できているか。 | 提出課題等 |

7 学習計画

| 期 | 月 | 時間 | 領域・種目 | 学習目標・学習内容 | 留意点 |
|-------------|---|---------------------------------|--|---|---|
| 一 学 期 | 4 | ⑫ | オリエンテーション 「スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲ」の 学習について 〈集団行動〉 体づくり運動 体ほぐし運動 体力を高める運動 〈体力テスト〉 | 学習の意義や内容評価の方法を理解する。 授業の意義（課題解決学習）について知る。 自分の体の状態を知り身体をほぐしたり、体力 を高める運動を行なう。生活の中で計画的に実 践できるようにする。 〈体づくり運動〉 ・ <u>体ほぐし運動</u> リズム体操、ペアでストレッチなど ・ <u>体力を高める運動</u> 持久走、柔軟運動、力強さを高める運動など | 授業の意義やそ の学び方につい て知ろう。 体力やストレス 解消の仕方につ いて知る |
| | 5 | ④ | 栄養学講義と実習 | 〈栄養学講義と実習〉 ・個人の食物摂取状況のデーターを元に望まし い栄養摂取について学ぶ ・食についての課題を学習しグループ発表する。 | スポーツマンと して望ましい食 生活を目指す。 |
| | | ⑯ | トレーニング論講義と実習⑯ | 〈トレーニング論講義と実習〉 ・トレーニングと運動処方についての基礎的な 講義学習を行い個人の体力に応じたトレー ニングを実習する。 | |
| | 6 | ⑥ | 救急法実習 ⑥（1年のみ） 日本赤十字社の基本講習を実施 し、受講証取得を目指す。 3年計画で、日本赤十字社救急 法救助員の資格修得を目標にする。 | スポーツの指導者としての資質と技能の向上を 目指す。 人の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応 できる様にするためには、一人一人が応急の手 当ての手順や方法を身につけるとともに自ら進 んで実施できる態度を養う。 ・心肺蘇生法についての知識を習得し実技を行 う中で、手順や手技手法の統一を図る ・運搬法や包帯法等の基礎知識と手技を学ぶ | 仲間と共に教え 合い学習、協力学 習を心がける。 |
| 7 | ⑥ | ボウリング実習⑥ 〈1年〉 〈集団の行動〉 | 〈ボウリング実習〉 生涯スポーツとしてボウリングを取り入れ体験するこ とで種目の楽しさを知りその技能を高め、体育指導者 としての資質を身につける。 ・基本ルールやマナーを身につける。 ・個人に応じた技術習得を図る ・得点競技としての競い合う楽しさを学ぶ 〈集団行動〉 ・基本動作を身につけると共に、集団での規範 意識、対人技能を身につける | 伝統的な礼法に ついて知る。 | |
| 二 | 9 | ⑫ | 〈集団の行動〉 ゴルフ実習 レンジ実習〈2年〉⑫ | 〈集団行動〉 ・基本動作を身につけると共に、集団での規範 意識、対人技能を身につける 〈ゴルフ実習〉 クラブでボールを打ち進めるという競技の特性を理解 | 伝統的な礼法に ついて知る。 安全面には最大 の気配りをす |

| | | | | | |
|-------------|----|---|--|--|--|
| 学 期 | 10 | ⑧ | コース実習<3年のみ>⑧ | し、個人的技能を高めるとともに、ゴルフのマナーを身につけることができるようにする。 ・スタンスやグリップの握り方等基本的技能を学ぶ ・ゴルフクラブの名称やルールについて理解する。 ・ゲームや審判法、スコアの記入の仕方を学ぶ | る。 ゴルフの特徴について理解し、基本的な知識を習得し、合理的な練習法を計画する。 |
| | 11 | ⑫ | キャンプ実習 <2年のみ>⑫ 登山 | 自然環境の中で、生活の規則に従って、共同生活を行うために必要な知識と技能を身につけ、好ましい人間関係を育て、自然に親しみ、自然を愛する心を育てるようにする。 ・テントの設営の仕方、野外料理、キャンプファイヤー、自然観察を行う。 ・プログラムの作成、食料や装備の計画と準備、役割分担ができるようにする。 ・沖縄の山の知識を学ぶとともに、危険性についてもその知識や技能を見につける。 ・自然を愛する態度を育てる。 | テントの張り方から火のおこし方など事前に実習を行う。 沖縄の自然について調べる。 集団のマナー等について学ぶ |
| | 12 | | 救急法実習 ⑫ (3年のみ) 日本赤十字社の基本講習を実施し、受講証取得を目指す。 3年計画で、日本赤十字社救急法救助員の資格修得を目標にする。 | スポーツの指導者としての資質と技能の向上を目指す。 人の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる様にするためには、一人一人が応急の手当ての手順や方法を身につけるとともに自ら進んで実施できる態度を養う。 ・心肺蘇生法についての知識を習得し実技を行う中で、手順や手技手法の統一を図る ・運搬法や包帯法等の基礎知識と手技を学ぶ | 仲間と共に教え合い学習, 協力学習を心がける。 |
| 三 学 期 | 1 | ⑫ | 武道実習⑫ (柔道) 2・3年のみ | <柔道> 自分の力に応じた運動の技能を高め、相手の動きに対応した攻め方や守り方を展開して試合ができるようになる。 ・基本動作や投げ技とその安全な受け身の方法を身につけると共に、対人技能の練習を行なう。 ・自分にあった得意技を身につけ試合を行なう。 ・自分にあった得意技を使って対抗戦を楽しみ大会を企画・運営できるようにする。 | 伝統的な礼法について知る。 安全面には最大の気配りをする。 得意技をみつける。 |
| | | ⑫ | 専門種目実習⑫ 球技 バスケットボール ハンドボール 野球・サッカー | <専門種目・球技> 専門種目としての課題に応じて技能を高め、作戦を生かした攻め方守り方の工夫をしたゲームができるようになる。 ・仲間とともに練習を工夫しながらチームや個人の特徴を生かした作戦やルールの工夫を通して、対抗戦を行なう。 | 仲間と共に教え合い学習, 協力学習を心がける。 |
| | 2 | ⑧ | <送別駅伝> ・3年生のみ | 卒業に当たり自ら駅伝を計画し実施する。 タスキをつないで走り通す駅伝の中で、協力や忍耐力を身につける。 | |

※実習に関しては受け入れ先や講師の都合により、時期や内容が変更になる場合があります。

8 使用教科書

体育実技

副教材：大修館書店「VISUAL SPORTS」

9 学習の留意点

- ・実技だけでなく、日頃の学習態度も評価に加えます。
- ・服装は指定の体育着または指定の服装を着用しましょう。(冬季は指定上着長袖のジャージを着用可)
- ・種目は自主的に選択し積極的に体を動かすようにしましょう。
- ・体調不良等で見学する際は、保健室の先生の確認をとるようにしましょう。
- ・無理は禁物ですが長期に病気等で、休むまたは見学する場合は「診断書」の確認が必要です。
- ・時間を守り、機敏に行動しましょう。

・新型コロナ感染予防対策(3密及び手洗い・手指消毒・喚起等)の徹底を行う。

令和3年度県立宜野湾高等学校「保健」シラバス（1～2学年）

1 目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる

2 到達目標

- 1 健康の保持増進のためには自分自身の生活行動を選択実践することや、そのための環境を改善する努力が大切なことを理解する。
- 2 我が国の保健医療制度について理解し生涯を通じた健康課題に対応できる能力を身につける。
- 3 健康と環境や食品、労働についての関わりを理解し適切な判断力や対応能力を身につける。

3 「保健」の単位数について

| | | | |
|----|----|----|---|
| 学年 | 1年 | 2年 | 計 |
| 単位 | 1 | 1 | 2 |

「保健」は1年間に35時間行います。クラス毎に授業を行います。

4 年間指導計画表（例 1年生はこの1年間次の計画で行います）

| 学期 | 1学期 | | | | 2学期 | | | | 3学期 | | |
|----|---------------|---|-----------------|---|-----------|----|---------|----|---------|---|---|
| | 4 | 5 | 6 | 7 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 保健 | 現 代 社 会 と 健 康 | | | | | | | | | | |
| | 健康のとらえ方（6） | | 健康の保持増進と疾病構造（8） | | 精神の健康（10） | | 交通安全（5） | | 応急手当（6） | | |

5 評価について

保健の評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「知識・理解」の3観点の内容をもとに、各領域（種目）ごとに日頃の授業の中で下にまとめた評価の方法で評価を行い、「成績」の資料とします。

| 評価の観点および内容 | | 評価方法 |
|-------------------|---|------------------------------------|
| 関心・意欲・態度 (45%) | <ul style="list-style-type: none"> 健康を維持するために必要なことについて関心をもっているか。 仲間と協力して資料を集め、積極的に意見交換しているか。 | 授業場面での参加の仕方 や意欲・態度の観察 ワークシート |
| 思考・判断 (15%) | <ul style="list-style-type: none"> 自分のこれまでの体験や資料などをもとに、学習する課題の設定や解決の方法を考え判断しているか。 | ワークシート 提出物 発表等 |
| 知識・理解 (40%) | <ul style="list-style-type: none"> 個人生活や社会生活の健康や安全について、課題解決に役立つ知識を身につけているか 適切な生活行動を選び、行動することや環境を改善していく努力が大切であることを理解しているか。 | 定期考査 ワークシート記入状況 提出物 発表 |

※評価の割合は、内容や授業の取り組み状況によって変動する場合があります。

6 学習の留意点

- ・テスト点だけでなく、観点別に評価しますので、日頃の学習態度等しっかり頑張りましょう。
- ・クラス毎に授業を行います。
- ・意欲的、自主的に取り組みましょう。
- ・単位保留の場合は「追試と課題」があります、単位修得を目指しましょう。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策(3密及び手洗い・手指消毒・喚起等)の徹底を行う。

7 学習計画(保健1年)

| 学期 | 月 | 単元 | 項目・考査等 | 学習目標・学習内容 | 留意点 |
|-----|----|---------------------------------|---|--|-------------------------------------|
| 一学期 | 4 | 現 代 社 会 と 健 康 | オリエンテーション 健康の考え方 健康の成り立ち | 健康水準や疾病構造, さまざまな保健活動や制度について理解し適切な意思決定や行動選択ができる。 ・ 健康水準や健康問題の変化を学ぶ | 健康についての学び方を考えよう。 |
| | 5 | | 健康のすがた 健康に関する意思決定・行動選択と環境づくり | ・ 保健活動や医療制度, 健康の保持増進の方法を調べる | 活動や制度を調べよう。 <u>課題学習</u> |
| | 6 | | 生活習慣病と生活行動 生活行動 (食事・運動・健康) 喫煙と健康 | 生活習慣病予防のため生活実践や飲酒・喫煙に対する適切な意思決定ができる。 ・ 生活習慣と関連の深い病気や健康の基本を学ぶ | 適切な生活習慣や喫煙の是非を考えよう。 <u>ディベート</u> |
| | 7 | | 喫煙・飲酒と健康 <u>一学期期末考査</u> | ・ 喫煙の健康への影響や対策を話し合う ・ 飲酒の健康への影響や対策を実習する (受動喫煙やアルコール依存症) | 自分の体質を知ろう。 <u>実習</u> |
| | 8 | | <u>夏期休業</u> | | |
| 二学期 | 9 | 現 代 社 会 と 健 康 | 薬物乱用と健康 | 薬物乱用や感染症に対する正しい理解と行動選択ができる。 ・ 薬物乱用の影響と社会問題を考える ・ 感染症の現状と予防対策を調べる | 薬物に手を出さない為に。 <u>ロールプレイング</u> |
| | 10 | | 感染症と予防 性感染症・エイズとその予防 その他の感染症 (新型肺炎) | ・ エイズの課題と対策を調べ発表する ・ 新たな感染症問題と対策を学ぶ | 性感染症と予防法を考える。 <u>課題学習</u> |
| | 11 | | 健康に関わる意思決定 大脳と精神機能 欲求と適応機制 | 精神と身体の関係を理解し, 欲求やその適応機制を説明できる。 ・ 大脳と神経の働きを学ぶ ・ 欲求と適応機制を調べる | 適切な適応規制について考える。 <u>課題学習</u> |
| | 12 | | <u>二学期期末考査</u> 心身相関とストレス 自己実現 | 心身相関とストレスの対処法について学び自己実現に向けて努力できる。 ・ 心身相関とストレスの対処法を学ぶ ・ 自己実現の大切さを話し合う | 自己実現について考えよう。 <u>ディベート</u> |
| 三学期 | 1 | 現 代 社 会 と 健 康 | <u>冬季休業</u> 交通事故の現状と要因 交通社会の責任 | 交通社会の知識や責任を理解できる。 ・ 交通事故の現状と交通社会の一員としての自覚と責任を学ぶ | 交通事故の現状と責任を調べる。 <u>課題学習</u> |
| | 2 | | 応急手当 心肺蘇生法 <u>三学期期末考査</u> | 生命の尊厳について学び, 救急法・心肺蘇生法を通じて正しい処置ができる。 ・ 心肺蘇生法や日常的な応急手当の方法を実習し正確な処置ができる | 実習を通して正しい処置方法を学ぶ |
| | 3 | | 応急手当心肺蘇生法の実習 | | <u>実習</u> |



8 学習計画(保健2年)

| 学期 | 月 | 単元 | 項目・考査等 | 学習目標・学習内容 | 留意点 |
|-----|----|-------------------------|---|--|-------------------------------------|
| 一学期 | 4 | 生涯を通じる健康 | オリエンテーション 思春期と健康 性意識と性行動の選択 | 年齢とともに変化する心や体、社会的役割を学び、思春期から中高年期までの健康にかかわる事柄について学ぶ。 | 思春期の特徴や正しい性知識を身につける。 |
| | 5 | | 結婚生活と健康 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 | ・思春期における体の発達の特徴や行動面、心理面の特徴が説明できるようになる。 ・性意識の男女差や結婚生活について学ぶ ・妊娠出産の喜びやメカニズムについて学ぶ | 妊娠のメカニズムや出産について調べよう。 課題学習 |
| | 6 | | 結婚生活と健康 加齢と健康 高齢者の社会的取り組み | 生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用する事の重要性が理解できる。 | 避妊具の取り扱い等について実習を行う。 |
| | 7 | | 保険制度と保健サービス活用 一学期期末考査 | ・受精・妊娠・出産の過程が説明でき、本人はもちろん周囲の人の留意点を学ぶ。 ・人工妊娠中絶の条件や心身に及ぼす影響について考える。 ・保険制度や医療サービスについて学ぶ。 | 保険、各種医療制度について調べる。 課題学習 |
| | 8 | | 夏期休業 | | |
| 二学期 | 9 | 社会生活と健康 | 医療制度と医療費 医療機関と医療サービス活用 医薬品と健康 | 我が国の保健・医療制度や機関について知り保健所や保健センター等の活用の仕方を学ぶ ・医療費が支払われる仕組みを説明できる ・医療機関の選び方について説明できる ・医者のかかり方を学ぶ ・医薬品の正しい使用法を学ぶ | 手帳カードについて調べる。 病院の診療科目について実際に調べる。 |
| | 10 | | 大気汚染と健康 水質汚濁と健康 土壌汚染と健康 | 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあり、様々な対策が立てられている事を学ぶ。 ・大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の起こり方や健康への影響原因物質その関係等を学ぶ | 4大公害病のビデオ視聴やインターネットでの課題学習。 |
| | 11 | | 健康被害の防止と環境対策 環境衛生活動のしくみと働き 食品衛生活動のしくみと働き | ・環境汚染の防止・改善への対策をあげて説明できる。 ・上下水道の整備や問題点について考える。 ・食品衛生に関する企業、行政の対策を学ぶ | 浄水場下水整備状況、企業の起こした食品衛生問題について調べる |
| 三学期 | 12 | 二学期期末考査 食品と環境の保健と私たち | ・食品の安全性と対策、環境汚染の予防について学ぶ。 | 廃棄物対策のリサイクル等について調べる。 | |
| | 1 | 冬季休業 働くことと健康 | 職業病や労働災害の防止には、作業形態や環境の変化を踏まえた管理を行う事を学ぶ。 ・職種による健康問題の違いと職業病について学ぶ。 | | |
| | 2 | 労働災害・職業病と健康 健康的な職業生活 | ・労働災害の防止対策について職場と個人で行うことを学ぶ ・健康管理の必要性について学ぶ。 | 労働災害の資料を調べる。 よりよい余暇の | |

| | | | | |
|--|---|---------|-------------------|---------------|
| | 3 | 三学期期末考査 | ・健康増進対策について説明できる。 | 過ごし方について話し合う。 |
|--|---|---------|-------------------|---------------|

9 保健学習の学び方

保健の授業のねらい



保健学習は健康にかかわる実践力を育てます

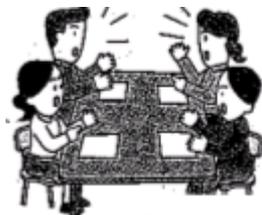
知識を習得するだけでなく、実際の健康を守ることに直接結びつくような内容にします。

<何を学ぶのか？>

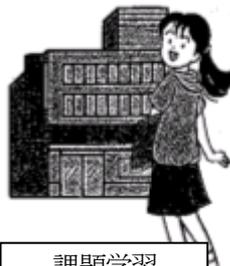
- ① 「健康水準」「生活習慣病」「ストレス」「飲酒や喫煙」「薬物・医薬品」「環境」など生活の中での危険因子を理解し適切な意志決定と行動選択を学ぶ。 実習
- ② 「応急処置」「心肺蘇生法」では実習を通して正しい処置方法を身につける。→
- ③ 問題意識を強くもつために、「課題学習」「ブレーストーミング」「ディベート」
「ロールプレイング（役割演技）」、コンピューターを活用した学習方法なども取り入れていきます。



ロールプレイング



ディベート



課題学習



コンピューターの活用

10 使用教科書

- 最新高等保健体育 大修館書店
- 最新高等保健体育ノート 大修館書店
- 最新高等保健体育情報資料 大修館書店